

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 5 月 27 日

新潟県知事 殿

提出者

住所 新潟県長岡市南陽1丁目1027番地1

氏名 株式会社 ヤヨイサンフーズ長岡工場
工場長 杉山 公章

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0258-22-3802

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 ヤヨイサンフーズ 長岡工場
事業場の所在地	新潟県長岡市南陽1丁目1027番地1
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	09 食品製造業
②事業の規模	64.7億円
③従業員数	343人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙(3)参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 (6 年度) 実績】		汚泥	廃油	廃プラスチック	動植物性残渣	金属くず	蛍光灯		
①現状	産業廃棄物の種類								
	排出量	693.76 t	7.40 t	255.81 t	2.45 t	16.56 t	0.02 t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	排出量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
製品切替数削減による原材料廃棄の削減、機械設備のメンテナンスや作業改善による不良品廃棄の削減、多能化を進めヒューマンエラーによる不良廃棄の削減などを実施しました。汚泥に関しては排水処理での処理剤変更により削減しました。									
【目標】		汚泥	廃油	廃プラスチック	動植物性残渣	金属くず	蛍光灯		
②計画	産業廃棄物の種類								
	排出量	679.88 t	7.25 t	250.69 t	2.40 t	16.23 t	0.02 t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	排出量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
新設備導入や作業改善活動により不良品やヒューマンエラーなどを減らし原材料の廃棄物を削減する。 排水処理での新処理剤の継続使用により汚泥の廃棄を削減する。									

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	動植物性残渣の再資源化を推進するため、廃棄品の中に廃プラや金属ゴミの混入が無いよう分別している。 カートンの中に入った動植物性残渣については、そのままでは再資源化できないため、分別を行い再資源化できるようにしている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	産業廃棄物の再資源化のため、動植物性残渣、廃プラスチック、金属ゴミの分別を継続して実施する。 金属ゴミや廃油などの有価物化の割合を増やすため、より一層分別を強化する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	動植物性残渣	金属くず	蛍光灯		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量								
	(これまでに実施した取組)								
特に実施していません									
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	動植物性残渣	金属くず	蛍光灯		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量								
	(今後実施する予定の計画)								
特に実施の予定はありません									
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	動植物性残渣	金属くず	蛍光灯		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量								
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量									
(これまでに実施した取組)									
過去に動植物性残渣の自社焼却を行っていたが廃止									
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	動植物性残渣	金属くず	蛍光灯		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量								
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量									
(今後実施する予定の計画)									
特に実施の予定はありません									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	動植物性残渣	金属くず	蛍光灯			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
産業廃棄物の種類									
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量									
(これまでに実施した取組)									
特に実施していません									

【目標】									
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	動植物性残渣	金属くず	蛍光灯			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
産業廃棄物の種類									
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量									
(今後実施する予定の計画)									
特に実施する予定はありません									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	動植物性残渣	金属くず	蛍光灯			
全処理委託量	693.76 t	7.40 t	255.81 t	2.45 t	16.56 t	0.02 t			
優良認定処理業者への処理委託量	84.26 t	0.00 t	253.72 t	0.00 t	16.56 t	0.00 t			
再生利用業者への処理委託量	531.81 t	0.00 t	253.72 t	0.00 t	16.56 t	0.00 t			
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
産業廃棄物の種類									
全処理委託量									
優良認定処理業者への処理委託量									
再生利用業者への処理委託量									
認定熱回収業者への処理委託量									
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									
(これまでに実施した取組)									
動植物性残渣、廃油の再資源化の推進 優良認定処理業者との委託契約の継続									

⑨ 計画	【目標】												
	産業廃棄物の種類	汚泥		廃油		廃プラスチック		動植物性残渣		金属くず		蛍光灯	
	全処理委託量	679.88	t	7.25	t	250.69	t	2.40	t	16.23	t	0.02	t
	優良認定処理業者への処理委託量	82.57	t	0.00	t	248.65	t	0.00	t	16.23	t	0.00	t
	再生利用業者への処理委託量	521.17	t	0.00	t	248.65	t	0.00	t	16.23	t	0.00	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00	t
	産業廃棄物の種類												
	全処理委託量		t		t		t		t		t		t
	優良認定処理業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t
	再生利用業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t
	認定熱回収業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t
	(今後実施する予定の取組)												
	<p>動植物性残渣については、バイオガス化事業への処理委託を継続するため分別に不備がないよう徹底していく。分別を行うことで再生利用が可能なものについては分別を強化し再生利用業者への委託を推進する。新設備の導入や改善活動により不良品を削減し動植物性残渣や廃プラスチックの排出を削減する。</p>												
	※事務処理欄												

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

第 1 面 産業廃棄物の一連の処理工程 について

○汚泥

- 1. 再生処理業者へ委託 → 肥料として再資源化
- 2. 処理業者へ委託 → 中間処理 (焼却) → 最終処分へ (埋立)

○廃油

- 1. 処理業者へ委託 → 中間処理 (焼却) → 最終処分へ (埋立)

○廃プラスチック

- 1. 再生処理業者へ委託 → 中間処理 (破碎・選別) → 原料として再資源化
- 2. 処理業者へ委託 → 中間処理 (破碎) → 最終処分へ (埋立)

○ 動植物性残渣

- 1. 処理業者へ委託 → 中間処理 (焼却) → 最終処分へ (埋立)

○金属くず

- 1. 再生処理業者へ委託 → 中間処理 (破碎・選別) → 原料として再資源化

○蛍光灯

- 1. 処理業者へ委託 → 中間処理 (破碎) → 最終処分へ (埋立)

○産業廃棄物に関する管理体制

統括責任 株式会社ヤヨイサンフーズ 長岡工場 工場長

廃棄物担当 長岡工場 生産管理課 (人員 11名)

役割

廃棄物処理統括責任者

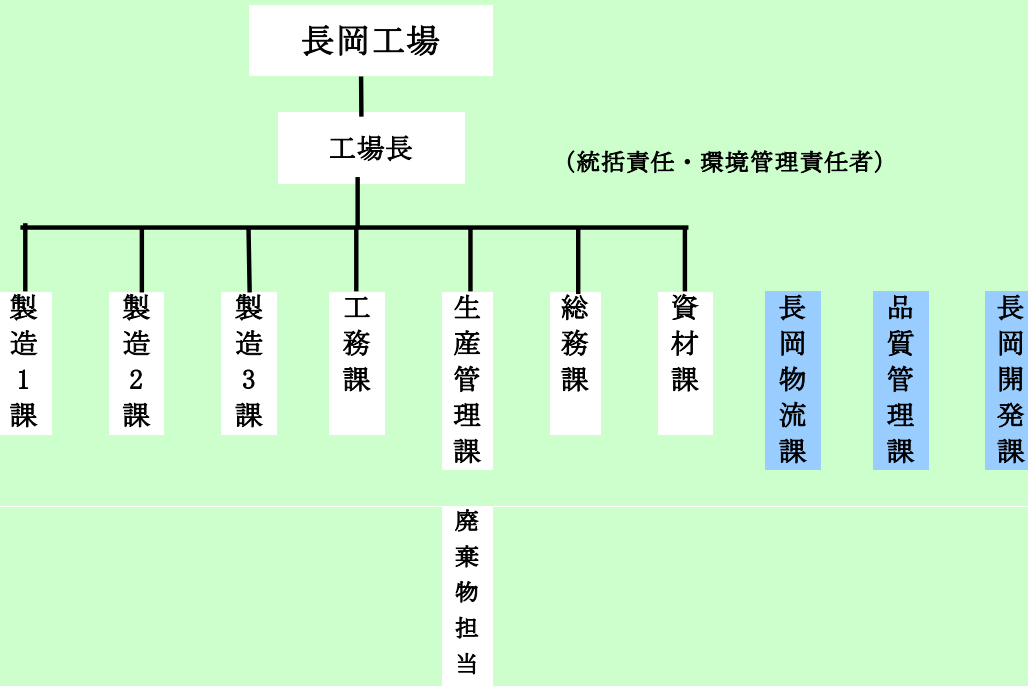
- 廃棄物処理方針の策定
- 廃棄物管理手順書の策定、改廃
- 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認

廃棄物管理 生産管理課

- 廃棄物処理計画の作成
- 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討
- 廃棄物保管施設の維持管理
- 廃棄物発生の抑制、分別の管理
- 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理
- 委託契約の締結
- マニフェスト票の交付及び管理
- 監督官庁への各種報告
- 社員、関連業者に対する教育
- その他産業廃棄物に関する事項

○産業廃棄物処理に関する管理体制

別紙 3 参照



産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	株式会社 ヤヨイサンフーズ 長岡工場 工場長 杉山 公章	提出者の住所	新潟県長岡市南陽1丁目1027番地 1
事業場の名称	株式会社 ヤヨイサンフーズ 長岡工場	事業場の所在地	新潟県長岡市南陽1丁目1027番地 1
内容年度	7 年度		

(単位:トン)

廃棄物の種類	現状 / 計画	排出量 A	自社内での処理状況				委託先での処理状況					
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量				
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J	
汚泥	現状	693.76	0.00	0.00	0.00	0.00	693.76	84.26	531.81	0.00	0.00	
	計画	679.88	0.00	0.00	0.00	0.00	679.88	82.57	521.17	0.00	0.00	
廃油	現状	7.40	0.00	0.00	0.00	0.00	7.40	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	7.25	0.00	0.00	0.00	0.00	7.25	0.00	0.00	0.00	0.00	
廃プラスチック	現状	255.81	0.00	0.00	0.00	0.00	255.81	253.72	253.72	0.00	0.00	
	計画	250.69	0.00	0.00	0.00	0.00	250.69	248.65	248.65	0.00	0.00	
動植物性残渣	現状	2.45	0.00	0.00	0.00	0.00	2.45	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	2.40	0.00	0.00	0.00	0.00	2.40	0.00	0.00	0.00	0.00	
金属くず	現状	16.56	0.00	0.00	0.00	0.00	16.56	16.56	16.56	0.00	0.00	
	計画	16.23	0.00	0.00	0.00	0.00	16.23	16.23	16.23	0.00	0.00	
蛍光灯	現状	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	現状	976.00	0.00	0.00	0.00	0.00	976.00	354.54	802.09	0.00	0.00	
	計画	956.47	0.00	0.00	0.00	0.00	956.47	347.45	786.05	0.00	0.00	